

脳神経外科

部長 下岡直

脳神経外科ご紹介

この4月から脳神経外科部長を拝命しております。下岡と申します。簡単ではございますが当科のご紹介をさせていただきます。

脳神経外科では、脳神経疾患全般に対して質の高い治療を提供し、泉州地域の中核をなす総合的な診療施設として、最新の医学レベルの安全で精度の高い診療を地域に還元することを志しております。

当科は大阪大学脳神経外科の関連施設として現在、脳神経外科学会認定専門医5名及び後期研修医3名の計8名で診療を行っており、平日夜間や休日を含め脳神経外科スタッフが院内に常在、さらに緊急手術時にはバックアップ体制を設けております。そして救命救急センターと密に連携し、多くの脳神経外科疾患の受け入れを行い診療、治療に当たっております。また平日毎朝カンファレンスを行いスタッフ内での情報共有や個別の治療方針決定を行っております。

当科では脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳卒中疾患、脳腫瘍、交通事故などでの重症頭部外傷、水頭症や顔面けいれん、三叉神経痛などの機能性疾患など幅広い医療を行っています。治療を行っている患者さんで最も多いのは脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳卒中疾患の方々です。そのため今回は脳卒中疾患に対する当院の取り組みをご紹介します。



▶救命救急センターでの緊急手術

幅広い医療を行っています。治療を行っている患者さんで最も多いのは脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳卒中疾患の方々です。そのため今回は脳卒中疾患に対する当院の取り組みをご紹介します。

脳卒中疾患全般に対する取り組み

脳卒中疾患は内科的治療を基本としそれに加えて外科的な治療が必要になる場合があります。当科では脳卒中学会認定専門医3名、外科手術を専門とする脳卒中の外科学会認定指導医2名、カテーテル手術を専門とする脳神経血管内治療学会認定専門医3名が常勤しており、内科的治療や外科的治療、カテーテル治療と様々な視点から考察し偏りのない適切な医療を提供しております。

脳梗塞に対する取り組み

脳卒中はいわゆる「時間との勝負」になることが多い疾患です。特に脳梗塞は発症早期であれば経静脈的血栓溶解療法(詰まっている箇所を溶かす薬剤治療)やカテーテルで詰まっている箇所を取り除く機械的血栓回収術の適応がある場合があります。当施設ではいずれの治療も常時行える体制をとっており脳梗塞に対するカテーテル治療は年間50症例程度行い豊富な経験を有しております。また外科的手術を要さない脳梗塞の方々に対しては脳梗塞の病型を診断し適切な内科的治療を行っています。

脳梗塞の患者さんには急性期の治療とともに再発の予防が重要となります。そのため脳梗塞の原因精査を行い、適した再発予防を提示しております。

そのなかでも不整脈(特に心房細動)を原因とした脳塞栓症は年齢とともに増加し再発の危険性が高く注



▶カテーテル手術

意が必要になります。不整脈が入院以前や入院時、入院中などに確認されなくても各種検査から不整脈が疑われる方には植込み型心臓モニタという小型の機械を左前胸部皮下に留置し転院・退院後も不整脈の有無を継続的に観察しています。不整脈が検出された患者さんは循環器内科と連携し適切な不整脈治療を行っております。

くも膜下出血に対する取り組み

くも膜下出血の原因のほとんどが脳動脈瘤の破裂によるものです。くも膜下出血の手術は破裂した脳動脈瘤を処置しさらなる状態悪化を防ぎます。手術は開頭手術及びカテーテル手術がありますが、当科では両方を専門的に行っております。動脈瘤の大きさや部位また患者さんの状態などを検討し、適切な治療選択を行っております。また手術後の周術期管理も厳重に行っております。

くも膜下出血の原因となる未破裂脳動脈瘤に対しては精査を行い、自然歴や治療方針、治療の危険性を患者さんやそのご家族にしっかりと説明させていただき、患者さんとともに相談しながら方針を考えていくよう心掛けております。

医療は日々進歩しており、スタッフ一同引き続き最新の知識を学び、研鑽を怠らず質の高い医療を提供するよう心掛けていきます。今後も泉州地域の脳神経外科疾患の最後の砦となるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

Profile



下岡直 (しもおか なお)

1975年生まれ横浜市出身

2001年

大阪大学医学部 卒業

2019年9月～

りんくう総合医療センター

- 脳神経外科学会認定専門医
- 脳卒中学会認定専門医・指導医
- 脳卒中の外科学会認定指導医
- 脳神経血管内治療学会認定専門医
- 脳神経外傷学会認定専門医